

2006 年 3 月 13 日

新しい BMW F 800 S の見事な芸術性

スタントの世界チャンピオン、クリスチャン・ファイファーが新しい 2 気筒モデルを乗りこなす

ミュンヘン発 2006 年、元スタント世界チャンピオンのクリスチャン・ファイファーが、新しい BMW F800S で息をのむようなバイクの技を披露します。昨年クリスが試乗したのはプロトタイプだったにもかかわらず、その俊敏性と新しい 2 気筒エンジンの完璧なパフォーマンスに、彼はすぐに惹きつけられました。そして、クリスからフリースタイルのシーズン開始から新たな“ワーキング・ツール”として F800 を使いたいという希望が伝えられ、発売前ではありましたが、BMW Motorrad はそのリクエストに応えることにしました。このようにして、プロトタイプが提供され、クリス自身がそれに改造を施しました。

新しいバイクは 2 月、太陽が輝くフロリダの“スタント・ウォーズ”で過酷な試練をくぐり抜け、見事に大成功を収めました。“スタント・ウォーズ”はアメリカで最大のフリースタイルバイク大会で、プロの間では非公式の世界選手権だと考えられています。35 歳のクリスは、フリーハンドのウィリー・サークルの後に 230°のターンをするなど、これまで誰も成し遂げられなかった技をいとも簡単にやってのけ、世界のベスト・スタント・プロフェッショナルに輝きました。競技バイクのほとんどが 4 気筒マシンなのに対し、彼の F800S は唯一の 2 気筒マシンでした。

クリスは、特に F 800 のエンジン性能に惚れ込みました。「エンジンがとにかく素直にスロットルに反応するので、パワーがとても自然に、かつ繊細に伝わっていく。このマシンの前に使っていた、チェーン駆動のバイクよりもずっといい。このバイクは、僕のスタントで欲していたもの、そのものだよ。最初に乗った時すぐに良いなと思ったんだけど、バランスが素晴らしい。手を加えるところは殆どなかったから、ほぼノーマルのままなんだ」

2006 年、クリスチャン・ファイアーは BMW F 800S に乗ってスタントを披露します。
クリスは、2006 年 2 月中旬に行われたチューリヒのバイクショーにおいてヨーロッパ
で初めてその姿を現し、観客は息をのむようなバイクの技に魅了されました。